

① 学習指導案

プログラム	No.9「思い出いっぱい わたしたちのみち」
単元名 (全21時間 図工8, 音楽2, 社会11)	図画工作科「忘れられない思い出」 (音楽科「ちいきにつたわる音楽に親しもう」) (社会科「昔から伝えられるもの 山笠」) (※6)
学習のねらい	地域に伝わる音楽の鑑賞を通して、昔の生活に興味を持ち、郷土文化に触れた校外学習(山笠見学)での思い出や心情を、形や色の感じを生かして絵に表し、郷土の歴史や地域の人々の思い出について考える。
学習内容	1 (音楽) 音楽科「ちいきにつたわる音楽に親しもう」で、地域に伝わる音楽を鑑賞し、「祝いめでた」と山笠のことを知る。 2 (図工) 飾り山笠の見学に行く。 3 (図工) 山笠見学の思い出を絵に表す。 ・表したい様子を思い浮かべ、線描きをする。 ・表したい様子を思い浮かべ、彩色をする。 ・作品を山笠関係者や地域の方と鑑賞し、福岡の良さを味わう。 4 (社会) 山笠の歴史や地域の人々の思い出について考える。
参考資料	・図画工作3・4下 日本文教出版 ・小学生の音楽4 教育芸術社 ・よい子の社会科4年福岡版 福岡地区社会科研究協議会
準備品	・CD(鑑賞 小学校の音楽4 教育芸術社) ・画用紙(四つ切 白) ・スケッチペン(黒・セピア) ・画版
実施場所等	・水彩絵の具 ・マークイズ福岡ももち(図工 見学のみ) ・愛宕小学校 教室(音楽、図工、社会)

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	音楽 鑑賞 ・地域に伝わる民謡を聴き、主な旋律に親しむ。 ・地域に伝わる音楽を調べ、楽器や歌声の音色や旋律に親しむ。(祝いめでた 博多祇園山笠より)	・体験を通して、歌い方の特徴に気づかせ、日本の民謡を味わわせる。 ・地域に伝わる民謡を鑑賞させ、特徴を感じ取らせる。博多祇園山笠にも触れ、興味を持たせる。	・音色や旋律の特徴を聴き取り、面白さや美しさを感じ、日本の民謡を味わうことができる。


8	<p>図工 絵に表す</p> <ul style="list-style-type: none"> 山笠見学(マークイズもち) <p>(※1、2、3、4)</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 感想文とその時の写真から、アイデアスケッチをかく。 <p>(※5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 山笠見学の感想文とその時の写真から、その時の思い出や感じたことを想起させ、表したいことを見付け、どのように表すかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 山笠見学の思い出や感動を絵に表す学習に期待を持つことができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 表したいものや大きさ、位置や重なりを考え工夫して表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品をもとにスケッチペンの選択をさせ、表したいものの大きさを検討させる。配置や重なりも考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 形やそれらを組み合わせによる感じが分かる。 表したいことを見つけ、どのように表すかについて考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 色づくり、筆づかい、水かけを工夫しながら表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 技コーナーと、イメージ広場(タブレットの写真)で表現の特徴をつかませる。自分の思いに合わせた表現になる技を選ばせ、表現に活かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 水彩絵の具を適切に扱うと共に、色や表し方を工夫している。 表したいことに合わせてどのように表すかについて考えている。 自分たちの作品のよさや面白さ、表したいこと、
	<ul style="list-style-type: none"> 互いの作品の表現を見合いながら、思い出や感じたことを交流し、表現することのよさや面白さを味わう。(GT 招聘、※7) 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に対する思いや山笠見学で心に残ったことを中心に交流する。ワークショップ形式で鑑賞会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな表し方などについて考え、感じ方を広げている。
11	<p>社会科</p> <p>博多祇園山笠の歴史的な背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取り組みに注目し、地域の発展など人々の様々な願いがこめられていることを学習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料(よい子の社会科)の資料から、発祥時から現在の山笠に込められた願いをとらえさせる。 山笠の保存や継承について調べることで、関わる人々の願いや努力に気づかせる。 本学習を通して、自分の社会生活に生かせるよう考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 山笠に関わる人々の願いをとらえている。 保存や継承に関わる人々の願いや努力となどを関連付けながら表現している。

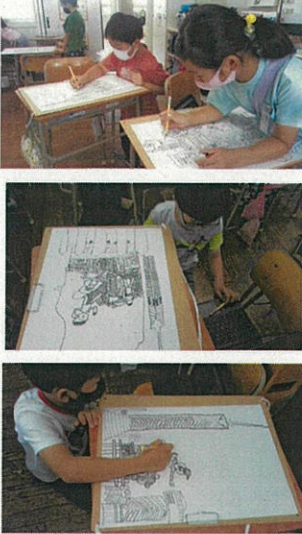


<留意点①>

- ※1 感染症拡大防止のため見学、撮影のみではあったが、見学時に展示場の当番の流（かき手）の方と交流し、山笠をかいたときの重さや山笠への思いについて聞くことができた。）
- ※2 見学当日は学年で一斉に移動。
- ※3 山笠見学はクラスごと。（感染症拡大防止のため）
- ※4 山笠を見た感想以外にも、思い出、福岡タワーなどももち浜周辺の風景なども写真に撮ったり文章で記録をしたりした。
- ※5 スケッチの視点は基本的に全体とし、見学に行ったあの日の思い出を絵に表すことを重点においた。
- ※6 音楽と見学は7月、図工は9・10月、社会は11月に実施し、本活動は教科を横断的に取り組んだ学習となった。
- ※7 図工の作品の鑑賞では、公民館等地域の人材を検討の末、山笠のかき手でもあり図画工作科の指導にも詳しい福岡市の現職小学校校長をGTとして招き、作品と一緒に鑑賞した。

② 事業実施報告書詳細

学校名 福岡市立 愛宕小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
2	教室	音楽 鑑賞 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に伝わる民謡を聴き、主な旋律に親しむ。 ・地域に伝わる音楽を調べ、楽器や歌声の音色や旋律に親しむ。（祝いめでた 博多祇園山笠より） 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・祭のときに聞いたことがあった。 ・福岡にも昔から伝わる音楽があることにびっくりした。 ・山笠って、おみこしとは違うのかな。 ・ニュースで見たことがある。（歌は初めて聞いた。）
8	マークイズ福岡ももち	図工 <ul style="list-style-type: none"> ・見学 ・アイディアスケッチ ・感想 		<ul style="list-style-type: none"> ・今にも動きそうなくらい、迫力があった。 ・僕も大人になったら、持ってみたい。 ・マークイズの屋根が高いところにあっただけけど、あと少しで天井につきそうなくらい高かった。 ・山笠の人が来てくれて、一緒に写真を撮ってくれた。うれしかった。

	<p>教室</p>	<p>図工 線描き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学時の感想文とその時の写真を参考に、線描き。 ・画材選び(スケッチペン 黒、セピア) ・思い出を絵に表すことを主とし(主題)、画用紙の裏に書く。(文章表記) ・山笠以外にもタワーやドームなど風景を思い出して描く。 ・構図の検討(大きさ、位置、重なりを工夫) 		<ul style="list-style-type: none"> ・暑かったのを忘れるくらい山笠の大きさに驚いた。だから、画用紙をつきぬけるくらい縦長に山笠を描く。 ・汗びっしょりで〇〇さんと「大きいね。」と山笠を見た思い出を表したい。汗をいっぱい描く。 ・お母さんが働いている福岡タワーを通してマークイズに向かい山笠を見た思い出を絵にしたい。全部思い出に残りたいから、3つとも重ねて一番前に自分を描く。
		<p>図工 彩色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水彩絵の具で彩色(色づくり、筆づかい、水かげんを工夫) ・主題(例 山笠の迫力、大きかった山笠)に立ち返らせ、主題がより表現できる色の付け方を考えさせた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・山笠の色鮮やかさに感動したから、一つ一つの飾りを赤、黄土色、青などで丁寧に色付けした。 ・あの日は暑かったので、日に焼けたから、肌の色も黄色とオレンジで色づくりした。
		<p>図工 鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に作品の題名(主題)、作品の紹介文、そして主題に関するクイズをカードに書いた。 ・鑑賞(クイズの答えを考えることで、表現意図を感じながら鑑賞した) ・鑑賞後、思い出や感じたことを交流した。 ・終末にGT(※8)を紹介し、作品から感じたことや表現することの価値をGTから話してもらった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・クイズの答えを考えるときは、絵をよく見たら答えが分かってきた。 ・来年も山笠を見に行きたいと思った。 ・同じ(山笠の)思い出でも、人によっていろいろな表し方があり面白かった。 ・GTが見せてくれた織物や帯がすごくきれいだった。(後の学習で、かき手は周囲のお手本として礼儀や作法も大切にしていることを知り、改めて感動していた。)
11	教室	<p>社会科</p> <p>博多祇園山笠の歴史的な</p>	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・始まりの歴史を知って納得した。正一国師の飾りが山笠につい

	<p>背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取り組みに注目し、地域の発展など人々の様々な願いがこめられていることを学習する。</p>	<p>ている意味が分かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに地域や僕たちに元気を届けようとしてくれているなんて、うれしい。 ・愛宕山の「ほおすき祭り」も、山笠と同じように地域の人の思いがこめられているのかもしれない。調べてみたい。
--	---	--

<留意点②>

※8 GTからの話では、①郷土の美しさや思い出を絵に表したことへの価値づけと、②山笠のかき手としての福岡への思いの2点について話してもらった。長法被の帯や博多織の巾着など、美しい道具も紹介してもらい社会科の学習への期待感へとつなげた。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの通学路、街並み、地域のニュース(山笠関連)など、普段何気なく目にする風景と心のつながりを絵に表せるように、本物体験にこだわった。(現地見学、かき手、GTなど) ・横断的な(音楽科、図画工作科、社会科)学習活動を通して、地域の魅力を再確認するとともに、山笠に関わっている人の熱い思いを知ることによって郷土愛を深める。 ・地域が持っている魅力を活かしつつ本学習のねらい達成のために、見学の経路、山笠見学、GTの活用の仕方など検討を重ね、打ち合わせなどを綿密に行った。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を強いられ、見学時のスケッチができない点。 (現地ではタブレットで写真記録を撮り、帰校後、感想やスケッチを教室にてかいた。) ・見学やGTとの打ち合わせなど準備に時間を費やした。
<p>(3) 児童の反応</p> <p>音楽(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の鑑賞と異なり、身近な行事に関する鑑賞活動だったため、興味深々だった。 ・普段聞きなれないリズムや言い回しが多く、動画では大勢の観衆の中で「祝いめでた」をかき手が歌っていたため、たくさんの疑問が出た。(次の学習につながった。) <p>見学時(感想文より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今にも動きそうなくらい、迫力があつた。 ・僕も大人になったら、持ってみたい。 ・マークイズの屋根が高いところにあつたけれど、あと少しで天井につきそうなくらい高かつた。 ・山笠の人が来てくれて、一緒に写真を撮ってくれた。うれしかった。

図工(感想文より)

- ・今まで描いた絵の中で、一番自信のある絵が描けた。
- ・来年も山笠を見に行きたいと思った。
- ・同じ(山笠の)思い出でも、人によっていろいろな表し方があり面白かった。

社会(観察)

- ・発祥、開催のスケジュール、礼儀作法、山笠にかける関係者の思いなど、1つ1つのことを知るたびに納得したり感動したりしていた。
- ・愛宕山の「ほおずき祭り」にも、山笠と同じように地域の人の思いがこめられているのではないかという感想が出た。単元の終わりには、調べ学習を行い、子どもたちの生活につながる時間にしていく。(11月末)

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・校区や福岡ならではの魅力を再確認し、音楽科、図画工作科、社会科の指導に臨むことができた。
- ・子どもたちと体験を共有して教室での学習を行えたので、より共感的に話を聞いたり助言、指導したりすることができた。

(5) 今後の課題と取り組み (児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)

- ・今後取り組む際は、本学習で描いた絵(画用紙)の裏に資料(山笠見学時に書いた感想文や記録など)を、張り付けて持ち帰らせたい。

理由 将来子ども達が見かえしたときに、表現意図、自己決定、自己表現した思い出が蘇るようにしたい。今年度は、バラバラに持ち帰らせてしまい再回収が困難だった。

- ・3学期の総合的な学習の時間「10歳を祝う会」で、10年間の自分史を調べたり家族に感謝したりする学習を予定している。文集づくりも行う予定なので、その1ページにこの山笠の絵の作品を持った写真を載せ、ストーリーを書き込む学習を入れていく。

モデルプログラムに関するアンケート

【様式第6号】

質問項目	評価 ABCD	理由など具体的な感想
モデルプログラム全体の見易さはどうですか。	A	PDFの資料が大変分かりやすく関連教科から展開例まで示されていたので、分かり易かったです。
モデルプログラムの内容は理解しやすかったですか。	A	上と同様、ウェブの資料が分かりやすく、単元計画例まで示されていたのでイメージし易かったです。
モデルプログラムは実施にあたり有効な動機付けになりましたか。	B	参考にはなりましたが、自校での実践には合わなかったため、図画工作科と社会科の指導書も参考にしながら考えました。
実施したモデルプログラムについて、良かったと感じたところがありますか。		本助成事業の応募を通して、子どもたちの学びがより深くなりました。私たち担当職員も、福岡の魅力を再確認し郷土教育の意義を感じる貴重な時間となりました。ありがとうございました。
実施したモデルプログラムについて、改良した方が良いと感じたところがありますか。		特にありません。
その他ご意見ご感想などあればご記入ください。		想定していたよりも書類関係(申請書)のチェックを丁寧にしてもらい、驚きました。報告書に反映する際にも、こちらの指導計画の見直しにもつながりました。ありがとうございました。 (普段の業務もあるため、記入内容、書類がもう少し簡略化されるとありがたいと思いました。)
<p>参考までに助成金の主な用途を差し支えない範囲でご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケッチペン(黒、セピア) ・画用紙(コットマン紙、マーメイド紙) ・接着剤(ボンドタッチ) ・共用絵具(ポスターカラー) ・ツェンクリップ(1,000~1,500個 ※) <p>※本実践をきっかけに、校内美術展を次年度開いてみたいと考えています。</p>		

学校名 福岡市立 愛宕小学校